

塚脇地蔵講



今年も8月24・25日に塚脇地蔵講が開催されました。

明治21年から始まった塚脇地蔵講は、流行りの疫病から地域住民を守る願いをお地蔵さんに託し、野菜や粘土など身近な材料を使った「見立て細工」を作ったことから始まり、120年以上の歴史があります。なお、町内各所にはお地蔵さんを祀り、供養しています。



通町 おんせん県 シンフロ

塚脇町内の自治区や小学校・幼稚園など14団体の皆さんによって時事的要素を反映して作られた見立て細工は、どの作品も見事な仕上がりで、訪れた見物客は足を止めて作品に見入っていました。また、コミュニティ女性部のみなさんが「山路踊り」を披露し、優雅な一時となりました。



優雅な「山路踊り」

全ての見立て細工をホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください！

「コミュニティスクールの

暑くい夏の報告・・・！

玖珠中

5月8日に多くの地域の方の協力で設置した緑のカーテンが立派に育ちました。そして、その副産物のゴウヤは機会あるごとに地域の方たちにもらって戴きました。リオオリンピックの熱気とともにこのほか暑かった今年の夏も、このカーテンのお陰で職員室が涼しげに！



立派に育った緑のカーテン



「息子」のターちゃんと一緒に講話する山本氏

塚脇小

6年生が祇園大祭でソーランをかつこよく演舞しました。赤のハチマキは一年前のファミリー学級にて親子で作ったものです。流石6年生、最後のソーランの演舞を立派にやり遂げました。

7月21日から8月10日まで、ラジオ体操会を開催し、延べ160人の幼児・児童・中学生・保護者等が参加して、盛り上がりました。これが塚脇の恒例になるといいですね。(参加された地域の方がそうおっしゃっていました。)



ソーランを演舞した6年生

小田小

終業式で校長は『良い夏休みにするにはどうしたらよいか』三つのヒントとともに講話されました。

①夏休みはたっぷり遊ぶこと
②夏休みはたくさんお手伝いをする
③夏休みは勉強のチャンス

さてどれくらい守れたでしょうか！
一学期の終わりに地域の方に教えていただいていた梅干しは、運動会の練習で熱中症対策に出番を待っています。

さあ、二学期も頑張ります！

玖珠中学校区

協育コーディネーター

岩尾 純子



梅干し作り